

看護と癒し	2年・前期	1単位 15時間	准教授 柴崎 由佳
科目カテゴリー	看護の統合	科目ナンバリング	34121062

1. 授業のねらい・概要

学生が看護援助をより豊かなものにしていくために、看護の可能性を探究し、人々を癒し、回復を促進し、QOLの向上に資する援助を創造的に学ぶことを目的とする。現在広く看護に活用されている代替療法を知り、患者の苦痛軽減や癒しの能力を高めることを目的とする。

2. 学修の到達目標

1. 看護援助における癒しの必要性について述べるができる。(D-2)
2. 代替療法の種類と方法について述べるができる。(D-2)
3. 代替療法を体験し、看護における癒しの必要性を述べるができる。(D-2)

3. 授業の進め方

講義では、パワーポイント資料用いて、癒しの概念について説明する。

演習では、自己の関心に基づき課題を選択し、グループワークによる主体的な学びと発表を通して、多様な考えに触れる機会を持つ。

【アクティブ・ラーニング実施の有無】

アクティブ・ラーニングとして、体験学習、調査学習、双方向アンケート、グループワーク、プレゼンテーション、リフレクション、を用いる。

【ICT活用の有無】

ICT活用の実施：Classroom等による学習課題の提示・配信、学習課題の提出等。

4. 授業計画（講義・演習）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	看護における代替療法，癒しとは	講義	予習：癒しとは何か，自分にとっての癒しは何か考える。 復習：授業資料を読み返し，自分にとっての癒しをまとめる。	柴崎由佳
2	代替え療法の種類と方法	演習	予習：グループで決めた課題について調べる。 復習：GWを振り返り，不足部分を明らかにする。	柴崎
3	代替え療法の効果と注意点	演習	予習：グループで決めた課題について調べる。 復習：GWで調べたことをまとめる。	柴崎
4	代替え療法による癒し	演習	予習：発表会資料内容を確認する。 復習：発表会での学びをまとめる。	柴崎
5	看護において必要な癒し	演習	予習：発表会資料内容を確認する。 復習：発表会での学びをまとめる。	柴崎
6	看護におけるマッサージ	講義	予習：マッサージについて調べる。 復習：授業資料を読み返し，看護におけるマッサージの注意点をまとめる。	柴崎
7	グループワーク	演習	予習：配布資料を読む。	柴崎

	(代替え療法の体験)		復習：演習で感じたこと，学んだことをまとめる。	
8	まとめ 試験：レポート	講義	予習：看護における癒しの必要性を考える。 復習：自分にとっての癒しと，看護における癒しについて振り返る。	柴崎

5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は2/3以上出席した者）60%（テーマ：看護における癒しと代替え療法について），授業内の課題・レポート40%，総合的に評価する。但し，どちらか一方でも合格基準（60%）に満たない場合は単位認定できない。期限までに提出されない課題・レポートがあった場合，単位認定できないことがある。課題・レポートの内容・配点・提出方法・提出先等は授業内で指示する。成績評価は，「2. 学修の到達目標」に示した評価観点毎に，ルーブリック評価（到達はA評価）とする。尚，ルーブリック評価表に関する詳細は，第1回講義内で別途説明する。定期試験の出題方法等は，事前に口頭で提示する。

6. テキスト・参考文献

講義中に資料を配布する。参考書は講義内で紹介する。

7. 準備学習に必要な時間，又はそれに準じる程度の具体的な内容

代替療法，癒しに関する文献を読み，グループワーク課題を仕上げる。事前事後学修については，それぞれ最低90分以上行うこと。

8. 受講上の留意事項

グループワークは主体的，意欲的かつ協働的に参加することが重要である。遅刻，欠席および授業中の私語，授業中に授業に関連する作業以外の行動は，参加態度として評価対象とするので注意すること。

9. 課題に対するフィードバックの方法

課題・レポートの講評は講義内で行う。内容に不備があるものは再提出を求める。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

選択科目である。

11. 該当する本授業は，以下の実務経験を活かして実施される

医療機関における看護師としての実務経験を活かして，講義・演習を行う。